

年度	受託名	委託者	調査内容
平成22年度	市民意識調査業務委託	豊橋市	市民の市政参加の一環として、市政における市民の評価と要望事項を把握することを目的として、「インターネットの利用について」「ポートインフォメーションセンターカメリアについて」「スポーツに対する意識について」「喫煙について」「防災対策について」「住宅用火災警報器の設置について」「校区市民館について」の計7項目を重点とした市民アンケート調査を行った。
	三遠南信地域社会雇用創造事業における社会的企業人材創出・インターンシップ事業管理業務	三遠南信地域連携ビジョン推進会議	三遠南信地域の県境を越える連携によって今後雇用の増大が見込まれる「自然資源の活用分野」、「地域づくり分野」、「安心安全分野」において、社会的企業を支える人材の創出を図り、これにより県境を越える流域都市圏を支える雇用創造ネットワークの構築を目指した。 三遠南信地域のNPO法人等の協力の下、多くの研修コースを用意して進めるため、研修生受入機関の募集、研修生の募集を行うとともに、集合研修を実施し、研修生の社会的企業意識の醸成を図った。 なお、本事業は2年間の継続事業であった。
	豊橋市農業振興地域整備計画変更計画作成委託業務	豊橋市	豊橋市の農業振興地域整備計画を策定するため、農業振興地域内の現況及び将来見通し、総合的に農業の振興を図ることが必要であると認められる地域について、農業の健全な発展と土地資源の合理的な利用を図ることを目的とし、土地の自然的条件、土地利用の動向、地域の人口、産業の将来見通し等を考慮し見直した。 具体的には、農業振興地域整備計画基礎資料、農業振興地域整備計画変更計画書等を作成した。
	平成22年度三河港港湾施設高度化整備検討業務	三河港湾事務所	三河港は、完成自動車の取扱いが年間100万台以上ある世界5港湾の内の一つであり、輸入自動車に関しては金額・台数ともに17年連続で全国第一位、輸出に関しては金額・台数ともに全国第二位の港である。 過去及び現状の自動車取扱状況や今後の自動車産業などの動向を把握し、また港湾利用者のニーズを整理し、港湾管理者や地元自治体等の三河港の将来に関する意見・情報交換を踏まえ、今後の港湾整備の方針を検討した。
	循環ビジネス支援の広域展開可能性調査業務	愛知県	「あいち資源循環推進センター」は、これまでに21の循環ビジネスを創出してきたが、東三河地域では余り多くない。 そこで、あいち資源循環推進センター機能を東三河地域に配置した場合、その機能を十分に発揮することができるか、浜松地域も含めた企業の需要、自治体や大学が行っている支援事業との連携、コーディネーター人材の確保などの視点から現状を調査し、展開可能性について検討を行った。
	平成22年度三河港臨海部防災体制検討業務	三河港湾事務所	「臨海部立地企業BCM研究会」(平成19年度から継続)を軸に、地域経済の要であるのにもかかわらず、防災対策上、地域行政サービスの域外にある明海産業基地の事業継続計画検討を通して、三河港臨海部の防災体制のあり方を明らかにした。その課程で、地元防災組織である明海地区防災連絡協議会が主体となった「明海地区事業継続計画(BCP)」の立案を支援した。東海・東南海・南海地震の来襲が必至といわれる中で、被災時の三河港の産業機能維持には、立地企業相互の支援協働体制が重要であるとともに、地域自治体が、この体制構築を支援していく事が重要である。そのために、立地企業の自治組織と地元自治体などの官との間における防災(BCP)協定の締結などが不可欠である事を提案した。
	港湾振興費の内輸入車関連企業調査業務委託	愛知県三河港務所	三河港は完成自動車の取扱量の多い港湾であり、平成21年度には輸出入自動車台数が約75万台と国際的な自動車港湾の一つである。特に輸入自動車については金額・台数共に17年間連続日本1位を確保している。しかし、最近の経済不況による完成自動車の取扱台数の減少や大手の輸入車メーカーの三河港臨海部からの撤退等の問題が起きている。こういった状況の中、港湾を含めた背後地域の発展を進めるためにも、三河港の完成自動車の拠点港として役割を進展させていく必要がある。中でも輸入車を取り扱う企業の三河港臨海部への定着と新規進出を促進することが重要であり、そのためのポートセールスが重要な活動となる。 そこで、本業務は輸入車関連企業へのポートセールスのための基礎資料を作成することを目的とし、輸入車関連企業の各種情報を整理し、ポートセールスの方針を検討した。
	平成22年度農商工連携型知財調査事業	中部経済産業局	愛知県東三河地域における農商工連携、特に産学官連携による植物工場の普及促進を活用した地域ブランド化や地域活性化に向けた取り組みを推進するため、東三河地域の農家のニーズや、設備導入に向けた課題抽出とその整理のほか、課題解決に向けた方向性をとりまとめた。 また、既存農家へ導入可能な植物工場における知的財産の動向や活用状況、今後の課題等の情報を収集するほか、中核的な参加事業者の強みを把握するとともに、それらの取組の課題を抽出・整理して、植物工場の利用側と提供側双方の情報について関係機関との共有を図った。
	「東三河生物多様性保全事業のうちテキスト応用編Ⅱ作成作業業務」	東三河自然環境ネット	平成20年度に作成した東三河地域の生物多様性保全活動を行うための内容を盛り込んだテキストの応用編として場所や施設を紹介した。
	豊橋市新事業創出等支援事業に係る調査研究業務	株式会社サイエンス・クリエイト	自然エネルギーを利用した産業の中で、太陽光発電産業を対象とし、その関連産業の広がり、全国的な立地状況を分析するとともに、東三河地域における関連産業集積、知的資源(大学での研究等)の状況を整理した。また、地域における太陽光発電産業の振興の考え方を検討した。